

事業番号	事業名	内容	対象外項目番号
1	農道等維持管理事業	農道等維持管理(修繕)業務	-
	土木総務運営事務事業		
2	議会対応事業	一般質問、総括質疑の答弁調整	②
3	庁議運営事業	政策会議、行政幹部会議	②
4	予算編成事業	予算編成、決算、監査対応業務	②
5	広報事業	広報編集	②
6	調査事業	町内外の調査対応	②
7	訴訟対応事業	訴訟案件業務	②
8	町道認定事業	町道の認定、廃止、変更、区域の変更業務	⑦
9	境界確定事業	道路、河川、水路敷等の境界査定に関する業務	⑦
10	町道用地整理事業	道水路の寄附、付替え、廃止の業務	⑦
11	道路管理事業	道水路の占用、掘削、自費工事、規制、不法占拠の排除及び道路管理全般に係る業務	⑦
12	地籍調査事業	地籍調査に関する業務	③
13	公用車管理事業	公用車の管理に関する業務	⑦
	国県道整備促進事務事業		
14	要望活動事業	国県に係る整備促進に関する業務	⑦
15	砂防事業	砂防事業に関する業務	⑦
16	二級河川整備促進事務事業	二級河川の整備促進に関する業務	⑦
	道路橋りょう総務運営事務事業		
17	道水路等要望受付事業	道水路等に係る要望の受付に関する業務	⑦
18	道水路等補修要望対応事業	道水路等に係る要望の対応に関する業務	③
19	道水路用地借用事業	道水路用地の借用に関する業務	③
20	道路照明灯維持管理事業	道路照明灯の維持管理業務	③
	道路維持運営事務事業		
21	施設管理事業	地下道ポンプ、街路樹、側溝等淤滞に関する維持管理業務	-
22	道路等修繕事業	道路等の修繕に関する業務	-
	旧東海道松並木(大磯高麗1号線)維持管理事業		
23	旧東海道松並木(大磯高麗1号線)維持管理事業	松並木敷の維持管理に関する業務	③
24	旧東海道松並木(大磯高麗1号線)整備活用事業	松並木敷の整備活用に関する業務	⑦
	道水路維持管理整備事業		
25	道水路維持修繕事業	道水路の維持管理に必要な維持整備工事	③
26	道水路境界確定事業	道水路の維持管理に必要な確定測量調査	③
27	橋りょう長寿命化修繕事業	橋りょうの長寿命化に関する設計、工事に関する業務	③
	道路ストック定期点検事業		
28	橋りょう等定期点検事業	橋りょうの定期点検に関する業務	③
29	舗装等修繕事業	舗装、照明灯修繕工事に関する業務	③
30	道路確定調査事業	道路新設改良に伴う境界の確認、復元及び未完了地の土地の保証業務	③
	狭あい道路整備事業		
31	狭あい道路修繕事業	拡幅後の修繕工事に関する業務	③
32	狭あい道路境界確定事業	狭あい道路に係る道路査定に関する業務	⑦
33	狭あい道路補償調査委託事業	狭あい道路に係る補償調査委託に関する業務	③
34	狭あい道路測量調査委託事業	狭あい道路に係る測量調査委託に関する業務	③
35	狭あい道路土地購入事業	狭あい道路に係る土地購入、補償に関する業務	③
36	国府本郷西小磯1号線整備事業	用地買収、道路拡幅整備工事に関する業務	③
37	生沢月京1号線整備事業	用地買収、道路拡幅整備工事に関する業務	③
	災害復旧事業		
38	農業用施設災害復旧事業	農道等災害復旧業務	⑦
39	道路橋りょう施設災害復旧事業	公道、橋りょう等災害復旧業務	⑦

議会对応事業	農道等維持管理事業							事業番号	03 - 10 - 01		
細分事業名	—							シート作成日	令和3年11月19日		
予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	05	事業	01	
	事業開始年度										—
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
都市建設部				建設課				道路管理係・道路整備係			

事業計画 (Plan)	総合計画	P 84	柱	V 元気や活力が生まれるまちづくり							
			部門	29 産業 (農業・漁業・商工業)							
			大施策	A 農業経営基盤の強化							
			中施策	(1) 農業を支える基盤整備							
			施策目標	経営基盤の支援と担い手の確保・育成を促進し、農業を支える基盤整備に取り組みます。							
	根拠法令・条例等			—							
	個別計画等			—							
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—			実施項目名	—		
	目的 (何のために)			町内全域の農道の適切な維持管理を行い、良好な環境を維持する。							
	対象 (誰を・何を)			農道							
内容			農道の補修								

事業実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	財源内訳	直接事業費 (a)	千円	2,868	3,900	4,560	5,900
			国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					
			一般財源		2,868	3,900	4,560	5,900
	職員人数 (概算職員数)	人	0.21	0.37	0.42	0.42		
	人件費計 (b)	千円	1,141	1,682	1,973	2,343		
	総事業費 (a) + (b)	千円	4,009	5,582	6,533	8,243		
事業費内訳 (千円) R 03 年度		修繕料 : 5,900千円						
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値		
		新規参入件数				15件		
指標名		単位	項目	R01年度 (決算)	R02年度 (決算見込)	R03年度 (予算)	R07年度 (目標)	
対象指標 (対象者数等)	工事箇所	箇所	—	3	3	3	3	
活動指標 (活動量)	工事箇所	箇所	計画値	3	3	3	3	
			実績値	4	4	—	—	
成果指標 (達成度等)	工事の完成率	%	目標値	100	100	100	100	
			実績値	133	133	—	—	
			達成率	133.0%	133.0%	—	—	
定性的成果		—						

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	② 統合に向けた検討は可能		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-③ 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過(過去4年間)	簡素な修繕については、直営作業を主体とした迅速な対応をすることで、業者委託費を抑える一方、まとまった修繕については業者委託により適切に対応し、効率的な維持管理に努めている。			
課題(事務の効率化)	業者委託を抑えるためには、直営作業を主体として行う必要があり、そのためには職員の確保及び現場対応スキルの向上・継承が求められている。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	H30年度	維持	
		理由	維持管理の手法としては、現行のままでよいと思われる。							
	課題解決への視点	農道の整備を担当している産業観光課とともに、農業者の要望を的確に把握し、双方の役割分担の中で、要望に沿った現場対応を行う。								
	着手する事項	R03年度	産業観光課とともに、農業者の要望を的確に把握する。							
		R04年度	産業観光課とともに、農業者の要望を的確に把握する。							
R03年度改善事項	現場作業能力の向上を図るため技能労務員の人員(現場作業員)を確保するとともに、現場対応については、必要に応じ産業観光課職員と現地確認を行い、現場状況に応じた適切な対応を行うことに心掛けた。									
記入日	令和4年3月18日									

議会対応事業	道路維持運営事務事業							事業番号	03 - 10 - 21		
細分事業名	施設管理事業							シート作成日	令和3年11月19日		
予算科目	会計	01	款	08	項	02	目	02	事業	01	
	事業開始年度										—
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
都市建設部				建設課				道路管理係・道路整備係			

事業計画 (Plan)	総合計画	P 82	柱	V 元気や活力が生まれるまちづくり							
			部門	28 道路・交通							
			大施策	A 道路整備の推進							
			中施策	(1) 道路等の安全対策の推進							
			施策目標	道路拡幅やバリアフリー化等により安全に通行できる環境を整えるとともに、定期的な点検や維持管理により安全性の向上を図ります。							
	根拠法令・条例等			—							
	個別計画等			—							
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—			実施項目名	—		
	目的 (何のために)			道路施設について適切な維持管理を行い、生活道路としてより良い状態に保つ。							
	対象 (誰を・何を)			排水ポンプ、街路樹、側溝等							
内容			排水ポンプの維持管理、街路樹の剪定及び側溝等の浚渫。								

事業実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	財源内訳	直接事業費 (a)	千円	6,719	6,920	11,449	11,855
			国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					
			一般財源		6,719	6,920	11,449	11,855
	職員人数 (概算職員数)	人	0.21	0.18	0.33	0.33		
	人件費計 (b)	千円	1,141	1,060	1,949	1,948		
	総事業費 (a) + (b)	千円	7,860	7,980	13,398	13,803		
事業費内訳 (千円) R 03 年度		手数料 : 2,600千円、管理委託料 : 9,255千円						
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値		
		定期点検 (2巡目) 実施済み橋りょう数 (全69橋)				69橋		
指標値	指標名		単位	項目	R01年度 (決算)	R02年度 (決算見込)	R03年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	ポンプ点検箇所	箇所	—	18	18	16	15
	活動指標 (活動量)	ポンプ点検完了箇所	箇所	計画値	18	18	16	15
				実績値	18	18	—	—
	成果指標 (達成度等)	点検完了率	%	目標値	18	18	16	15
				実績値	18	18	—	—
達成率				100.0%	100.0%	—	—	
定性的成果		—						

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	② 統合に向けた検討は可能		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-③ 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過(過去4年間)	業者委託費を極力減らすために、直営作業による対応の可否前提に、効率的な予算執行を心掛けている。			
課題(事務の効率化)	今後も、直営作業を主体として行うが、職員の確保及び現場対応スキルの向上・継承が求められる。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	H30年度	維持	
		理由	業者委託及び直営作業により効率的な対応を行うためには、現行のままでよいと思われる。							
	課題解決への視点	直営作業及び業者委託で対応する排水施設等の浚渫や街路樹等の剪定において、予算上の対応費用も考慮した中で実施していく必要がある。								
	着手する事項	R03年度	業者委託及び直営作業による効率的な対応を行う。							
		R04年度	業者委託及び直営作業により、双方の費用も考慮した効率的な対応を行う。							
	R03年度改善事項	現場作業能力の向上を図るため技能労務員の人員(現場作業員)を確保することで、樹木剪定や側溝浚渫など可能な限り直営作業による対応を心掛けた。								
	記入日									
	令和4年3月18日									

議会対応事業	道路維持運営事務事業							事業番号	03 - 10 - 22		
細分事業名	道路等修繕事業							シート作成日	令和3年11月19日		
予算科目	会計	01	款	08	項	02	目	02	事業	01	
	事業開始年度										—
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
都市建設部				建設課				道路管理係・道路整備係			

事業計画 (Plan)	総合計画	柱	V 元気や活力が生まれるまちづくり								
		部門	28 道路・交通								
		大施策	A 道路整備の推進								
		中施策	(1) 道路等の安全対策の推進								
		施策目標	道路拡幅やバリアフリー化等により安全に通行できる環境を整えるとともに、定期的な点検や維持管理により安全性の向上を図ります。								
	事業の概要	根拠法令・条例等	—								
	個別計画等	—									
	行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—			実施項目名	—				
	目的 (何のために)	道路施設について適切な維持管理を行い、生活道路としてより良い状態に保つ。									
	対象 (誰を・何を)	町内全域の道水路									
内容	道水路の維持修繕業務										

事業実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	財源内訳	直接事業費 (a)	千円	22,417	15,278	17,902	18,026
			国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					
			一般財源		22,417	15,278	17,902	18,026
	職員人数 (概算職員数)	人	0.34	0.18	0.29	0.32		
	人件費計 (b)	千円	1,848	1,060	1,713	1,889		
	総事業費 (a) + (b)	千円	24,265	16,338	19,615	19,915		
事業費内訳 (千円) R 03 年度	消耗品費：170千円、印刷製本費：6千円、修繕料：17,700千円、工事中材料費：138千円、測量用材料費：12千円							
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			定期点検 (2巡目) 実施済み橋りょう数 (全69橋)			69橋		
	指標名		単位	項目	R01年度 (決算)	R02年度 (決算見込)	R03年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	工事箇所	箇所	—	17	20	23	20
	活動指標 (活動量)	工事箇所	箇所	計画値	17	20	23	20
				実績値	17	27	—	—
成果指標 (達成度等)	工事完成率	%	目標値	100	100	100	100	
			実績値	100	135	—	—	
			達成率	100.0%	135.0%	—	—	
定性的成果	—							

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	② 統合に向けた検討は可能		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-③ 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過(過去4年間)	業者委託費を極力減らすために、直営作業による対応の可否前提に、効率的な予算執行を心掛けている。			
課題(事務の効率化)	今後も、直営作業を主体として行うが、職員の確保及び現場対応スキルの向上・継承が求められる。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	H30年度	維持	
		理由	業者委託及び直営作業により効率的な対応を行うためには、現行のままでよいと思われる。							
	課題解決への視点	年度途中での突発的な案件に対する対応について、効率的な予算執行が求められる。								
	着手する事項	R03年度	業者委託及び直営作業による効率的な対応を行う。							
		R04年度	業者委託及び直営作業による効率的な対応を行う。							
	R03年度改善事項	現場作業能力の向上を図るため技能労務員の人員(現場作業員)を確保するとともに、維持管理や修繕等の要望内容の主旨を十分に把握したうえで、現場対応については、可能な限り直営作業による対応を心掛けた。								
記入日	令和4年3月18日									